

稲作

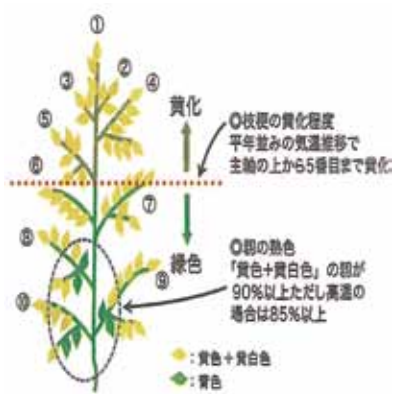


出穂期翌日から8月19日までのアメダスデータと、それ以降の年平均値を用いた積算到達予想日は左表のとおりです。

刈り取りに向けた準備
適期の刈り取り判断について
 刈り取り時期は、出穂後日数や積算気温を参考に、枝梗や籾の黄化程度をよく観察し総合的に判断しましょう。

■判断の目安

① 出穂後の日数	早生種(あきたこまち等) : 出穂後 45日頃 中晩生種(めんこいな・ゆめおぼこ等) : 出穂後 50日頃
② 出穂後の積算気温	早生種: 950 ~ 1050℃ (1100℃を超えると胴割粒増加) 中晩生種: 1050 ~ 1150℃ (1200℃を超えると胴割粒増加)
③ 枝梗の黄化程度	主軸の上から5番目の枝梗まで黄化した頃
④ 籾の黄化程度	最終的には籾の黄化程度 90%で決定



出穂期別積算気温到達予想日(8月19日現在)

出穂期	能代アメダス				
	950℃	1000℃	1050℃	1100℃	1150℃
8月1日	9月11日	9月14日	9月17日	9月19日	9月22日
8月5日	9月17日	9月20日	9月22日	9月25日	9月29日
8月10日	9月23日	9月26日	9月29日	10月3日	10月6日

注) 8月20日以降は年平均値を使用した場合

平成26年産米のJAあきた白神における 必須銘柄及び選択銘柄一覧表

平成26年産米の銘柄検査は、下記の品種になります。

種類	必須銘柄	選択銘柄
水稲うるちもみ 水稲うるち玄米 (17品種)	あきたこまち	ササニシキ
	ひとめぼれ	はえぬき
	めんこいな	ゆめおぼこ
		たかねみのり
		萌えみのり
		コシヒカリ
		淡雪こまち
		でわひかり
		秋田63号
		五百川
		つぶぞろい
水稲もち玄米 (2品種)	きぬのはだ	
	たつこもち	
醸造用玄米 (6品種)	秋田酒こまち	華吹雪
	秋の精	美郷錦
	吟の精	
	美山錦	

収穫・乾燥・調製作業について
 ○コンバインのトラブリングは、必ずエンジンをストップしてから点検しましょう。
 ○収穫時の籾水分は25%以下が望ましく、作業時間帯は稲体が乾燥している午前10時～午後5時頃に設定しましょう。
 ○高水分の籾や活青米の多い籾等は、籾含水率20～18%まで低下した時点で乾燥機を休止し、籾全体のテンパリングを行ってから仕上げ乾燥する二段乾燥を実施しましょう。
 ○米選機の網目は1.9mmを基準とし、整粒歩合80%以上の高品質米をめざしましょう。



営農行事案内
平成26年産米の初検査実施
 平成26年産米初検査を、9月22日からJA各倉庫にて実施します。品位鑑定資格を持つJA関係者たちが、新米の出来を確認し、今年度の等米の品質などを判定します。
 なお、検査は11月まで行う予定です。